

《拓の会ニュース》

Vol.36

■拓の会例会予定（7月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

1G	■日 時:7月19日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:社員とともに歩んだ5年。ホクコーのこれから… ■話題提供者:(株)ホクコー 代表取締役 岩橋 真知子 氏
2G	■日 時:7月20日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom ※出所者雇用セミナーへ参加	■テーマ:やりなoshたい人を応援する企業の存在意義と可能性 ■報告者:㈱ドリームジャパン北海道 代表取締役 長原 和宣 氏 ■ファシリテーター:(一社)ちっぷす 代表理事 及川 抄織 氏
3G	■日 時:7月27日(木) ※7Gと合同開催 ■会 場:Cafe + deli 四つ葉apart	■テーマ:調整中 ■話題提供者:manma village合同会社 代表社員 中尾 智子 氏
4G	■日 時:7月12日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:簿記基礎講座③ ■講 師:KIDOライフデザイン研究所 所長 城戸 和子 氏
5G	■日 時:7月20日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom ※出所者雇用セミナーへ参加	■テーマ:やりなoshたい人を応援する企業の存在意義と可能性 ■報告者:㈱ドリームジャパン北海道 代表取締役 長原 和宣 氏 ■ファシリテーター:(一社)ちっぷす 代表理事 及川 抄織 氏
6G	■日 時:7月20日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:温泉コラムの発表 ■話題提供者:参加者全員
7G	■日 時:7月27日(木) ※3Gと合同開催 ■会 場:Cafe + deli 四つ葉apart	■テーマ:調整中 ■話題提供者:manma village合同会社 代表社員 中尾 智子 氏
8G	■日 時:7月13日(木)18:00~20:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:自己の価値を知る、魅力発掘② ■報告者:(株)あんく 代表取締役 瀬戸 のりこ 氏
9G	■日 時:7月7日(金)19:00~21:00 ■会 場:とかちプラザ403	■テーマ:IT・DX~デジタル時代の活路~ ■報告者:参加者全員
10G	■日 時:7月18日(火)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:調整中 ■話題提供者:調整中

■拓の会例会報告（6月）

<第1グループ>『侃々諤々』グループ

記録:平井氏

■日 時:6月21日(水) 19:00~21:00

■場 所:同友会事務所

■参加者:16名

■テーマ:承継4年目の社長が自社の継続的發展を目指す

■話題提供者:㈱安藤建設 代表取締役 岡村 正治 氏

【感想・報告】

岡村社長より事業承継から4年目を迎えるにあたり、これまでの社内での取り組みや今後の展望などの話題提供を頂きました。働き方改革が進むなかで、社員への休暇増や給与体系の変化、また高齢化による技術者不足など、土木工事業に限らず、参加者も同じ悩みとして、建設的な意見や自社での取り組みなどの発表があり活発な例会になりました。今回は初めての試みになりましたが、参加者が4グループに分かれて、ディスカッションを行いました。時間を有効的に使えて、テーマについても深く掘り下げて、意見交換など出来たのでよかったと思います。公共事業を取り巻く環境は厳しくなっている感じがしましたが、社会活動に必要なインフラ整備は、経済の屋台骨の業種の為、技術者の確保、処遇改善など今後も課題があることを学ばせて頂きました。岡村社長の仕事に対する思いや、従業員の方への思いなど熱心に語っていただいて、思いが強く伝わった例会になりました。



<第2グループ>

『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』グループ

記録:小森氏

■日 時:6月28日(水) 19:00~21:00

■場 所:同友会事務所・ZOOM

■参加者:8名

■テーマ:「自分を発見!!」自己分析してみよう

■話題提供者:ひらの社会保険労務士事務所

社会保険労務士 平野 直美 氏

【感想・報告】

今回の例会はキャリア・アンカーやエゴグラムを用いて自己分析、自分を見つめようということで行われました。同じ質問に対してもメンバーそれぞれの考え方があり、結果性格の傾向もそれぞれ違った形になっていました。こうしたテストを用いて改めて自分を振り返ってみると、知っているようで知らない自分の傾向や性格が見えてきて興味深いものでした。長所や短所を知ることでこれから自分の振舞い方にも気を付けたり、あるいは自信をもつことができるようになって感じました。また、自分以外のメンバーの性格や傾向を見ることで他者への接し方や理解が深くなっていくとも思いました。

それぞれのメンバーの自己分析を通じた様々な感じ方や考え方をすることで、自分のコミュニケーションのヒントに用いることができていると思います。



《拓の会ニュース》

Vol.36

■拓の会例会報告（6月）

<第3グループ>『とかちの魅力を考える会』グループ

記録：高島氏

■日時：6月22日（木）19：00～21：30

■場所：海鮮 蔵

■参加者：6名

■テーマ：地元民に愛される飲食店の、変わらぬもの、
変わらないもの。

■話題提供者：旬パンプー 代表取締役 中山 浩介 氏

【感想・報告】

今日は音更町ハピオにある海鮮居酒屋 蔵さんにお邪魔し、創業38年、蔵さん開店から29年と長きに渡り多くの人に愛される理由を、6月に代表就任されたばかりの中山氏にお話を伺いながら勉強させていただきました。この日一番目を惹いたのは、音更産の朝採れ野菜のみで盛り付けられた「きのっ子サラダ」。成長段階で間引いてしまう大根やきゅうり、珍しい野菜なんかをハピオ店内にあるきのっこファーマーズに出荷している農家さんから、直接お話ししながら仕入れるのだとか。メニューのあちこちにある地元食材を使ったお料理は、産地の方々とのコミュニケーションを大切にしているからこそ手に入る食材だと感じました。流行に左右されない安心安定のメニュー内容、同じお客様が連日来店することも珍しくない宴会ではメニュー内容を変えるなど工夫をされているそうです。店内の生簀、店員さんの明るい声、中山氏や女将として店先に立つお母さまの人柄から、お客様への感謝や大きな愛情を感じました。多くの地元民に愛されるお店とは、大きな愛情でお客様と関わる人が働いているお店だと感じた会でした。



<第4グループ>『会計・財務の超初級』グループ

記録：岡村氏

■日時：6月14日（水）19：00～21：00

■場所：同友会事務所・ZOOM

■参加者：13名

■テーマ：簿記基礎講座②

■講師：KIDOライフデザイン研究所 所長 城戸 和子 氏

【感想・報告】

城戸講師による簿記の初級講座第2講を行いました。前回のおさらい複式簿記の5要素、仕訳から転記、総勘定元帳、合計残高試算表、損益計算書、貸借対照表と、通常業務ではパソコンがやってくれている内容を電卓と筆記で数字の流れを把握していきました。聴講よりも実践が主となり、魔の2回目、恐怖の…ハードワーク回といったことも囁かれ、皆さんまなざしが真剣です。そうすると各人個性が出るもので、うなり声、独り言、激しい電卓打音が静かなはずの事務所内に響きます。途中休憩の指示に安堵し即鉛筆を置く者、休んだら忘れるとひたすら電卓を鳴らす諦めの悪い者など様々です。普段の何気ないちょっとした優しさを軽く受け流してくる会社の事務員さんに感謝感謝です。

ルールにのっとった単純作業ではありますが、お金の流れ、まとめ方を理解することにより経営での問題点の抽出、対処の方法がより明確になります。儲かっていても現金がなければつぶれるし、借入れが多くても現金があればつぶれないなど、簿記・税務会計から一歩踏み出した管理会計を目指す為と思いながら第3講に臨みます。



<第5グループ>『持ち味を活かす職場づくりを考える』グループ

記録：及川氏

■日時：6月15日（木）19：00～21：00

■場所：同友会事務所・ZOOM

■参加者：10名

■テーマ：私のトリセツを作ったことによるピフォアアフター

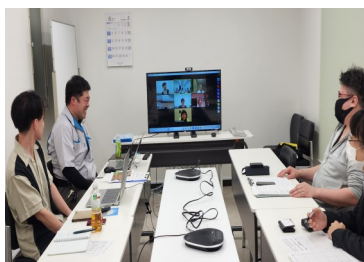
■話題提供者：高嶋コンクリート工業(株) 営業課長 井上 英樹 氏

【感想・報告】

井上さんは昨年9月にChipsで開催した研修に参加して【私のトリセツ】を作成しました。そのときは①自分を知っているようで知らない②怒りの沸点が低い③人からの指摘を本当は受け入れていない④自己肯定が低い⑤自己承認できない⇒すなわち自分のことが好きではない、相手（まわり）の顔色をうかがっている人間でした。自分は何ぞこのパーソナリティなのか。考えることが増え、封印していた過去を振り返り、正面から向き合うようになると、意識の変化が生まれ、自己肯定できる機会が増え、マイナスを引きずらなくなりました。さらに先月の5Gの例会に参加し、持ち味一つ一つの行動例を知ることで意外な変化がありました！！今まで漠然としていたことがずっと受容でき、「できていないかも…」と思っていたことが意外にできていくことがわかり、自分を肯定できたと仰っていました。

最後に井上さんがこれからどうなりたいかを話してくれました。①人として成長したい②趣味をみつけたい③専門スキルをUpしたい④情報発信をしていきたい。そのために謙虚⇒協力⇒自己研鑽⇒自信の順で行動すること、ただ自信がつくとおごってしまうことがあるので、また謙虚になり行動していく必要があると話していました。

働きづらい会社は否定ばかりされることが多いです。井上さんの話にもあるように、他人からの評価も大事ですが自分の評価も大事で自信を持ち続ける事、そうすると指摘を受容しやすいくことがわかりました。自己理解・他者理解・相互理解をして相互扶助できる職場づくりについての学びが深まった例会でした。



<第6グループ>『とかちカルチャー発信』グループ

記録：山崎氏

■日時：6月15日（木）19：00～21：00

■場所：同友会事務所

■参加者：5名

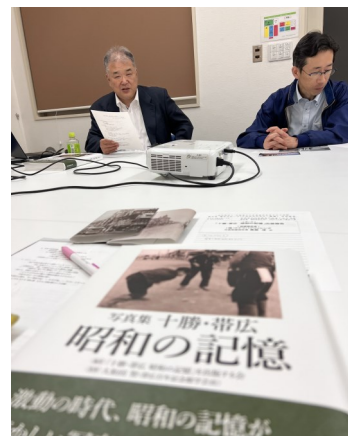
■テーマ：「十勝・帯広 昭和の記憶」出版報告

■話題提供者：(株)クナウパブリッシング 代表取締役社長 高原 淳 氏

【感想・報告】

昨年発足した「電子書籍グループ」で生まれた企画が遂に形になりました。クナウパブリッシング高原社長と、ザ本屋さん高橋社長が組んで一冊の写真集が生まれました。「十勝・帯広 昭和の記憶」私は直接関わってはいませんが、この企画をずっと間近で見ているので完成本を目にし、ささやかな感動が沸き起こりました。A4判280P 定価10,000円+税3,000円冊刷ったそうです（みなさん是非とも店頭でお買い求めくださいね）。写真集めから始まり、帯広百年記念館の大和田さんを中心に編集委員会が作られました。写真は集まりましたがそこにキャプションを付ける作業が大変苦労されたそうです。膨大な作業を経て完成した写真集の見どころを2時間たっぷり話してくれました。出版イベントも終え、今後の販売に力を入れていくそうです。高原社長のアイディアで本の完売、増刷まで事例を残してほしいです。

次回からは「十勝カルチャーの発信」をテーマに進んでいきます。



《拓の会ニュース》

Vol.36

■拓の会例会報告（6月）

<第7グループ>『LiveCommerce（ライブコマース）』グループ

記録：澤田氏

■日時：6月28日（水）11：00～12：00

■場所：(株)十勝野フロマージュ・Youtube Live

■参加者：5名

■テーマ：十勝野フロマージュ

～ウォッシュって何？ナチュラルチーズを楽しむ秘訣～

■話題提供者：(株)十勝野フロマージュ

代表取締役社長 赤部 順哉 氏

【感想・報告】

2000年に創業し、主に白カビタイプのチーズを製造。中札内村の指定牧場から良質な絞られた生乳だけを使用していることが強みで特徴です。メイン商品にはカマンベールチーズを提供、またラクレットやクリームチーズ、マスカルポーネなど。さらにバターやアイスクリーム・カップアイスなどを本店や道の駅（中札内）で販売しています。また、地元小売店やネット販売、ふるさと納税などを通じて購入することができ、プレゼントやお中元の贈り物としても人気が高いです。「美味しい空気と水で育った牛のミルクでチーズを作ったらきっと美味しい。」という確信のもとに作られたチーズは、地元の人々はもちろん、全国や世界中のファンから愛されるチーズとして、十勝を代表する名産品となっています。

今回の配信では、4人体制で十分な余裕をもって中継を行うことができました。体制が安定している時には、持っている技術や機材をさらに導入することで、配信のバリエーションを増やしたいと思いました。これから

も技術を向上させるための努力を重ね、より充実した配信を実現したいと思っています。

YouTubeチャンネルはこちら↓



<第8グループ>

『気軽に話そう！あなたのマーケティング実践会』グループ

記録：小野寺氏

■日時：6月7日（水）18：00～20：00

■場所：同友会事務所・ZOOM

■参加者：11名

■テーマ：自己の価値を知る、魅力発掘

■話題提供者：コーチングオフィスRISEおびひろ

代表 丸山 久美子 氏

FP山崎増美事務所 代表 山崎 増美 氏

【感想・報告】

今月の例会は8グループのメンバーお二方から話題提供を頂きました。まずはコーチングオフィスRISEおびひろ代表：丸山さん。多方面で活躍され大変ご多忙な状況の中、更に新たな事業として未来の為に総合的な子育て支援事業の構想を持たれておりました。もともと保育士や学研教室を経験されてきた中で教育だけではなく子供と母親のメンタルも含めた総合的なサポートに定評があり、新たな事業を広める為にSNSを活用するという手法も用いながら、学研教室時代になぜ教室が盛況だったのかを知ることで、また当時通って来ていた親子に直接的にアプローチするもの有効ではないかという意見が出ました。もうお一方はFP山崎増美事務所の代表：山崎さん。現在はファイナンシャルプランナーとしてライフプラン作成・資産運用・保険立案・相続対策等、個人のお客様がメインの中で数年前から法人のお客様も手掛け始め、これからどう法人のお客様を増やしていくかという内容でした。山崎さんに関してはもう少し深掘りしようという事になり、続きは来月に持ち越しとなりましたが、今回話題提供して頂いたお二方は共にご自身の事業を見つめ直す良い機会になったようで、拓の会らしい充実した内容の例会になりました。ありがとうございました。



<第9グループ>『よろず見聞学（楽）』グループ

記録：近藤氏

■日時：6月2日（金）19：00～21：00

■場所：帯広市民文化ホール 3階・第2会議室

■参加者：9名

■テーマ：健康～心身の健康について～

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

事前に下記5つの設問を全員に考えてきてもらい、それに沿って意見交換しました。

- 1.健康診断・人間ドックを受けているか？結果はどんな感じか
- 2.健康食品・サプリメント等は使用しているか？お勧めはあるか
- 3.スポーツ・ジム等運動はしているか？
- 4.若く元気を保つ秘訣とは何か？
- 5.健康全般について（病気予防、病気の知識、お勧め病院等）

各自のそれぞれの日常行っている健康対策、経験談等の意見交換が為されて、新たな気付きがかなりあったと思われます。無呼吸症候群、増毛・育毛、ダイエット、運動等がメインで話されましたが、若く元気を保つ秘訣が一番興味をそそられた内容となりました。全員一致の意見としては「気持ちの持ち様では」となりました。経営者は健康が一番大事で、それを保つ為には日々の生活を管理し、常に注意する事が必要であるとの方向性で話がまとまりました。健康で若く元気を保つには刺激が必要であり、参加者の一人は間に合ってますとの答えでした。今後その解答を検証する必要がある事は他の参加者全員で一致しました。



<第10グループ>『補助金・助成金を考える』グループ

記録：小野寺氏

■日時：6月27日（火）19：00～21：00

■場所：同友会事務所

■参加者：7名

■テーマ：実際の申請にみる諸所の留意点

■話題提供者：(株)進藤鑄造鉄工所 代表取締役 進藤 寛也 氏

【感想・報告】

今回の例会は(株)進藤鑄造鉄工所の進藤社長に話題提供を頂きました。進藤社長はこれまでに何度も補助金を自力で申請した事があり、その経験から我々に申請時の留意点を実際に申請時に作成した資料の一部を見させて頂きながらお話を頂きました。どのように資料を作り込めば審査員に理解してもらえるか、どのような課題があり、なぜこの補助金が必要なのかという事、そしてどのような結果をもたらすのかをまとめた資料でした。今回公開していただいた資料は進藤さんの社内で必要とされる機械設備を購入する為の補助金申請でした。まずは自社の概要と業界の特性の説明→現状と課題→必要とされる設備の効果→設備導入後の将来の展望等をしっかりと書き込まれた資料でした。ただ単に機械設備が欲しいという事ではなく、この設備を導入する事で、自社だけではなく業界全体に良い影響があるという事をしっかりと説く事が申請時の資料作りに大切な事であるという事に気付かされた例会になりました。

